

カジノ住民投票 林市長と

日本共産党

自民・公明の反対で実施できず

19万3193人の
思い届かず

なんで市民の
声を聞こうともしないの～？



02 ここがポイント

1 否決された条例案
はどんなもの？

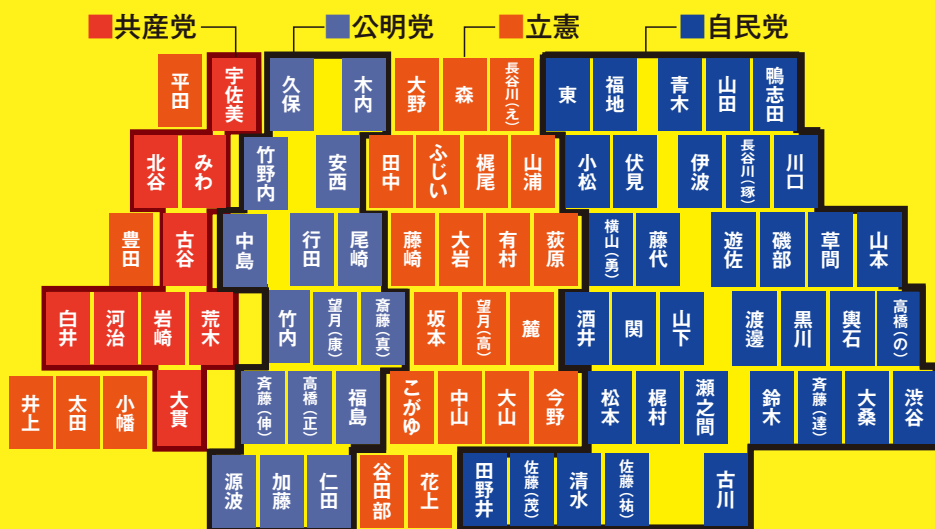
2 IRカジノ誘致の決着は
夏の市長選挙に

詳しくは裏面をご覧ください

住民投票条例案への投票結果

総数 85 反対 51 賛成 34

(議長1人のぞく)



画像：市議会局作成のものを改変（本会議場座席のとおり）

日本共産党、立憲、無所属5議員は賛成

1月6日～8日にかけて開催された臨時市会で、法定数3倍超えの19万3193人から直接請求されていたIRカジノ誘致の是非を問う住民投票条例案が、自・公の反対によって否決されました。

自・公の態度は、林市長の「コストも考えなければならない」「代表民主制が健全に機能している」などとして「意義を見出しがたい」と住民投票を否定する考えに歩調を合わせたものです。両党

は「(IR誘致は)軽々に市民に判断を委ねてはいけない：自民党」「(住民投票実施には)10億円の費用が必要となる：公明党」などと述べ、観光立国にはIRは不可欠と公言する菅首相の意向にそってIR誘致を推進していく姿勢を露わにしました。

両党と市長の態度をそのまま受け入れることはできません。夏の市長選にむけてカジノ誘致推進勢力包囲の輪を大きく広げることが求められています。



日本共産党市議団(9人)市役所前 住民投票の実施アピールする市民とともに

市民の声聞かない市長・市会を変えよう

市長と自民・公明が否決した カジノ住民投票条例案とは？



1/7 常任委員会採決の様子

市長が勝手に 決めたことが発端

林市長は、2017年夏の市長選挙の直前に、これまでの前のめりだったIRカジノ誘致をトーンダウンさせ、市民の意見を踏まえた上で方向性を決定する、として、誘致を「白紙」と「公約」し当選。なのに19年8月、突如誘致を表明。2019年4月の市議選挙で、IR誘致を「公約」に掲げて当選した議員も皆無でした。つまり、選挙において横浜市民は、IRカジノ誘致について、明確な意思表示をする機会がありませんでした。

直接請求は市民の権利

地方政治は、選挙で選ばれた市長と議員で行うという間接民主主義を原則としています。この原則が機能しない場合に備えて、法律で住民の意思を直接、地方行政に反映させる制度＝「直接請求」制度が用意されています。

市民の声を聞いてから 決めてほしい

この市民の権利に基づいて、昨年9月4日から2か月間かけてIRカジノ誘致の是非を問う住民投票の実施を求める署名収集活動が行われました。結果、議会に提案できる法定数（最低有効署名数）の3倍を超える19万3193筆が集まり、今回の条例制定請求に至りました。

住民投票の正当性かけ論戦 日本共産党市議団

日本共産党は、市長の住民投票に対する否定的な態度が住民自治と民主主義をないがしろにするものと厳しく市長を追及するとともに、住民投票の正当性を多角的に解明し、市民の思いに議会は応えようと可決にむけて尽力しました。否決されたとはいえ、住民投票直接請求の市民運動は、横浜市政と市会に新しいページを開いたことは間違いありません。（1/8 団長談話より）



1/8 採決が行われた市会本会議場



1/8 満席近くなった傍聴モニター会場

市民の声に背を向け、 民主主義と住民自治 を押しつぶした

「カジノの是非を決める横浜市民の会」が抗議声明

民意を問うことさえ否定し、自ら固執する施策を強引に進める林市長とカジノIR推進会派の態度は、到底、市民の納得も理解は得られないと厳しく批判。数の力で民主主義も住民自治も押しつぶした今回の臨時市会の事実を広く市民と共有するとともに、市民の多数の意思にもとづいて運営されるあたりまえの横浜市政を取り戻す決意を新たにし、闘いを次のステージに移すと表明。

市長選が反撃のステージ

そして、『今夏の市長選挙で「カジノ誘致撤回」を明確にする候補者を擁立し、勝利を目指すことが最も有効な反撃の闘いのステージだ』と強調しています。

カジノの決着は市長選挙で

国への申請は 夏の市長選挙で誕生する 新市長の手に委ねられます

IRカジノは、法により開業は全国3か所です。誘致を決めた自治体が国にIR事業計画を申請し国が認定する仕組みになっています。

国に申請する期間は、2021年10月1日～2022年4月28日の7か月です。林市長の任期は、2021年8月29日までです。これによって横浜市のIR誘致の国への申請は夏の市長選で4選されないかぎり、林市長のもとではできません。

市長選がIRカジノ誘致に決着をつける絶好の機会となります。

カジノNOの新市長誕生で カジノ誘致は阻止できます！



大貫憲夫 (青葉区)

宇佐美さやか (神奈川区)

かわじ民夫 (旭区)

古谷やすひこ (鶴見区、副団長)

あらき由美子 (南区、団長)

白井まさ子 (港北区、副団長)

岩崎ひろし (戸塚区)

北谷まり (保土ヶ谷区)

みわ智恵美 (港南区)

IRカジノについてぜひ率直な声を寄せてください。党市議団ホームページの問い合わせフォームをご利用ください。

共産党 横浜 で 検索

日本共産党横浜市議団

